

市政を問う！一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（8月下旬掲載予定）

担い手不足を解消し 保育の一層の充実を

島田典朗 議員

問 資格を保有しながら保育士として働いていない潜在保育士の就職促進策は。

答 市報での広報や保育

所等での掲示、退職者への声かけ、近隣大学への協力依頼等を行って

問 潜在保育士に特化し

た広報活動は。
答 子育て専門サイト「ママフレ」の活用や、県作成の冊子等を参考にしていきたい。

問 保育士登録簿の活用等、潜在保育士とのネットワークの構築は。

答 現在、登録簿の活用は行っていないが、本市

独自の登録制度を立ち上げ、長期的な保育士確保を講じていきたい。
問 ハローワークや保育士・保育所支援センター等との連携強化は。

ていきたい。あわせて、公私合同での保育士就業説明会も検討したい。
問 介護手当は月5千円支給されており、介護者の心の支えにもなっている。今後の方針は。

在宅介護を支援するために

答 財政状況や社会情勢等を見据えながら、制度の継続や見直しを研究していきたい。
問 国の補助財源で制度の充実を図っては。

答 支給条件等の面から現制度を選択した経緯があり、現状では考えていない。

保育ニーズに応える 包括的サポート体制

島田和泉 議員

問 多様な生活様式に適した相対対応は可能か。

答 入所相談等において、生活様式に応じた保育施設・事業を紹介している。

問 認可保育所に入所できなかつた場合のアフターフォロー体制は。

答 市指定の家庭保育室

や近隣市町の認可保育所の提案などを行って

問 保護者ニーズと保育事業の適切な連携を図るため、保育コンシェルジュ導入を検討すべきで

は。
答 どのような利用者支援が適しているのか検討

エコパの環境改善

問 バーデプール周囲がガラス張りのため、紫外線対策が必要では。

答 ガラス張りは開放感



バーデプール

三角小学校周辺の 防犯対策

問 通学対象児童が増え、通学路周辺の防犯や安全対策が急務では。

答 今後も見守り強化を図るため、学校周辺の自治組織と学校、家庭の連携を強化し、安全確保を図っていく。

認知症支援体制の推進を

伊藤美枝子 議員

問 本市においても認知症が増加傾向にある。認知症を正しく理解し、早期に発見・治療をすること、改善や進捗を遅らせることができる。認知症初期集中支援チームの役割は。

答 認知症が疑われる人、また認知症の人や家

族を訪問し、かかりつけ医と連携しながら適切な治療・サポートを行って

問 認知症を早期に発見するには、かかりつけ医の認知症に対する研修の推進が重要と考えるが。

答 医師会への働きかけも含めて、今後も積極的

「ふじみ野いっしょマップ」を 市民の手で

堀口修一 議員

問 市制10周年という佳節にあたり、市民が感じる本市の良いところを公募し、市民の目線に立つたタウンマップの制作を。

答 シティプロモーションの推進に有効であるとともに、郷土への愛着心を高めるまちづくりに大

南側地域の行政サービス向上を

変効果があり、作製を検討していく。

文化的な財産の管理

問 市が所有する文化的な財産について、市民共通の財産として活用・管理していくために、管理規程を明確にすべきでは。



南側地域のうれし野周辺

答 これまで市に寄贈された芸術作品の展示・活用については明確な指針がない状況であり、今後策定する文化振興計画の中で施策を検討する。

地域公共交通の 今後の計画は

問 定時定路線とデマンド型を組み合わせた運行方式など来年1月を目途に実証運行を行うが、地域公共交通に関する検討組織の今後の計画は。

答 6月中に法定協議会として設置する予定である。

問 高齢者の足の確保のみではなく、通勤通学の要望も高いが利用は。

答 通勤通学の利用者の利便性も考慮する。
問 児童発育・発達支援センターの支援
問 児童発育・発達支援センターは、早期発見から早期療育までを支援する中心的なセンターと期待している。支援内容は。
答 集団適応に関する発達支援・個別指導・発育発達療育相談・保育所等の訪問を行い、切れ目のない支援の実施を考えている。

質の高いホールを

民部佳代 議員

問 公民館のホールが老朽化している。整備の方針は。

答 まちづくりの計画など総合的に判断して計画する。

問 文化という面で考えれば、ホールの評価は稼働率の高さだけでなく質も重要。何にでも使える

多目的ホールでいいのか。
答 どのような活用が望ましいのか、市民への情報提供を含め、議論していきたい。

ドローン使用の ルール化を

問 市が管理する公園、道路、学校でドローンを

多様な保育ニーズ への対応

問 早朝・夜間の保育ニーズに対応を。

答 今年度から夜間や休日の保育加算が拡充され

公園愛護会の今後

問 活動の内容は。

答 公園内の清掃、花壇や樹木の手入れなど様々である。

問 会員が高齢化し活動量が少ない愛護会もある。各愛護会の意向は。
答 高齢化で会員の減少が課題という意見が多くある。会員を増やすための広報など必要な支援を行っていく。

一般質問



合唱前のウォーミングアップ